

バリ&ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第38号 2013年4月発行



インドネシアではそろそろ雨季が終わり、乾季が始まる4月となり、少し動きやすいシーズンとなりました。ロンボク島では、一昨年2011年10月ロンボク国際空港の開港時にユドヨノ大統領が来島し、ロンボク島周辺の海岸リゾート開発推進を、今後のインドネシア観光事業展開の柱とすることを宣言しました。しかし、インドネシア政府建設費予算が厳しい状況もあり、なかなかインフラ整備等が進まなかったのですが、開港から約1年半が過ぎて、徐々になのですが空港周辺の道路やリゾート地域への道路整備が漸く終わって来ました。

これに伴って道路周辺の民間投資も増えて来ており、需要を見込んで新しいショッピング・センターの開設や周辺ホテルやマーケットのリニューアル等も沢山行われて来ています。



リゾート地・スングギヘ向かう
再舗装された道路
・メンテナンス付近



リゾート地・スングギ付近
整備中道路右側は海側で
多くのリゾート・ホテルが並んでいる

インドネシア政府が、この空港を開設したのも、ロンボクを観光地として第二のバリにするための戦略であったのですが、同じインドネシアでもバリはヒンドゥー教が主体で、自由度も高く、真面目で勤勉なバリ人が多く、きれいな海岸を含めて、ヒンドゥー教の寺院や遺跡、更には伝統

芸術の展開等、見所が沢山あるのに対して、ロンボクはバリよりも美しい海岸や多くの小島があり、海のリゾートとしては十分にバリの上をいっているのですが、ロンボク人(主にササク)はイスラム教が主体で、宗教的な戒律も厳しく、バリに比べて自由度が限られることが多くあり、観光地としてなかなか発展出来ない現実があるのかと思います。

顕著な例はイスラム教の断食(ラマダン)があります。もしもこの時期にロンボクを訪問された場合、日中は殆どの店は閉まっていますし、街も閑散とし、買い物するのも大変です。また先々号にも書きましたが、お酒の取り扱いも厳しくなり、酒を安く手に入れるにも一苦労です。

でも、インドネシア政府観光局の挺入れで、ロンボク南海岸のリゾート開発が着々と進行していますので、新たなロンボク・リゾートもご期待願います。

the Mandalika Resort (<http://www.mandalikaresortlombok.com/what-is-mandalika-resort.html>)



リゾート開発が進むロンボク南
クタ海岸風景



the Mandalika Resort 計画図
空港から近いロンボク南岸リゾート開発プロジェクト

マリナー・スポーツが満喫できるギリ・メノに一度はお越してください。

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> Casablanca

のお問い合わせは、 shimaint@r4.dion.ne.jp へ